

令和7年度子供の読書活動優秀実践校・園・図書館・団体（個人）文部科学大臣表彰

被表彰校・園・図書館の取組状況

学校・園	観音寺市立観音寺中央幼稚園
	<p>観音寺中央幼稚園の絵本の部屋は、建物中央に位置している。どの年齢の幼児も利用しやすい位置にあるだけでなく、明るく開放的なスペースで、くつろげる雰囲気心地よい。</p> <p>観音寺中央幼稚園では、担任による本の読み聞かせを園全体で大切に捉え、日々継続している。また、親子で読書に親しむ機会とともに、「調べてみたい」と子どもが自ら絵本や図鑑を手取る機会も大切にしている。読書意欲の向上が図られ、小学校以降の「自ら本に手を伸ばす子ども」の素地を育む取組が進められている。</p> <p>さらに、様々な団体等による読み聞かせの会、地域人材の活用など、読書を通じた人との関わりの場が多く設けられている。読書活動に触れ合いの温かさが加味され、幼児期のよい経験として心に残るであろう。</p> <p>観音寺中央幼稚園では、子どもたちや保護者にとって、本がとても身近なものとなっている。幼児期にふさわしい読書活動が推進されており、他の園や県内の他市町のモデルともなるものである。</p>
	学校法人 のぞみ学園 のぞみ幼稚園
	<p>のぞみ幼稚園は、年齢や季節、行事に合わせた選書を行い、保育時間の中で読み聞かせを日常化している。</p> <p>日常の読み聞かせを発展させ、絵本と音楽劇をつなぎ、双方向に行き来することで、子どもたちの理解力、表現力を高め、感情を豊かにしている。また、地域ボランティアやPTA サークルを活用することで、様々な読み手による読書活動を推進している。</p> <p>PTA と園が連携し、読み聞かせや読書活動の重要性について、保護者理解が促進される機会を設け、子どもたちのための読書活動を支えている。移動図書館（車）を活用した読書活動は、地域住民と園児・保護者の本を通じた交流の場になっている。</p>
学校・園	丸亀市立郡家小学校
	<p>丸亀市立郡家小学校は、学校司書が週5日配置されており、選書や本の受け入れや、学校図書館の環境整備、授業で使用する資料の収集等、学校図書館の整備・活用等に熱心に取り組んでいる。</p> <p>教育課程と関連付けた学校図書館利用年間計画を作成し、児童に本の貸し出しをする場としてだけでなく、情報センターとして機能できるよう、必要な情報を収集・選択できる環境づくりを行っている。また司書教諭と学校司書とが密に連携を図りながら、学校司書の専門性を生かした授業支援を行っている。積極的な学校図書館の活用を目指して、公立図書館との連携を図りながら読書に親しむ活動を数多く設定している。</p> <p>このような取組によって、自ら本に手を伸ばす子どもが増え、探究的な学習等において、課題を解決するために必要な図書を選択できる子どもが育っている。</p>

<p>学校・園</p>	<p style="text-align: center;">高松市立浅野小学校</p> <hr/> <p>高松市立浅野小学校は、令和6年度全国学校図書館研究大会の発表校として、「子どもが育つ学校図書館～オピニオンリーダーを中心とした図書館づくり～」をテーマに、子どもの読書に関する研究を推進した。従来の教師主体の図書委員会の活動を刷新し、子ども自身が学校図書館の機能を知って、目的に応じた利用を心がけることで、学校図書館の活用における課題を見つけて解決を図ることができるようになることをめざす活動を行った。また、学校図書館の貸出冊数は、市立小学校の平均貸出冊数を上回っている。このように特色ある読書推進活動を実施し、その効果が表れている。</p>
<p>図書館</p>	<p style="text-align: center;">丸亀市立綾歌図書館</p> <hr/> <p>丸亀市立綾歌図書館は、平成17年3月合併により丸亀市立綾歌図書館となり、7月には綾歌市民総合センター2階に移転・開館した。以降、丸亀市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの読書活動推進に努めてきた。所蔵資料の約半分を児童書が占め、貸出冊数も児童書が館全体の半数以上を占めている。ボランティアによるおはなし会や絵本作家の読み聞かせのイベントの開催、学校と連携した見学や職場体験の受け入れなど、子どもが読書に親しむ機会を増やすために積極的に取り組み、域内の児童の読書普及活動に多大な功績を上げている。特に、小・中学校の夏季休業期間中は全日開館し、利便性の向上を図った。</p>
<p>団体</p>	<p style="text-align: center;">読書ボランティア「たんぽぽ」</p> <hr/> <p>読書ボランティア「たんぽぽ」は、平成9年に児童の読書離れへの懸念から設立され、現在に至るまで27年の長きに渡り、読み聞かせを中心に様々な読書に係る活動を続けている。</p> <p>図書館においては、幼児とその保護者を対象とした読み聞かせに加えて、紙芝居、手遊び、簡単な工作を行うことで図書館に親しみ楽しむ時間を作っている。こども園、小学校、中学校においても、定期的におはなし会、読み聞かせを開催している。また、より多くの保護者に読み聞かせをしてもらえるように、絵本作家や幼児教育者を招いての講演会やワークショップも実施している。</p> <p>現在は、乳幼児から高齢者に至るまで幅広い世代に対して、読書の魅力を伝えており、今後もさらに活動の幅を広げていくことが期待されることから、本表彰にふさわしいものとする。</p>